

平成 29 年度 第 3 回文京区地域福祉推進協議会保健部会 会議録

日時 平成 29 年 8 月 10 日 (木) 午後 2 時から午後 3 時 30 分まで

場所 文京シビックセンター 24 階 第一委員会室

<会議次第>

I 開会

II 議題

(1) 保健医療計画の改定について

①保健医療計画の主要項目及びその方向性 (案)

【資料第 1 号】

②計画の体系図 (案)

【資料第 2 号】

③保健医療計画の計画事業 (案)

【資料第 3 号】

(2) その他

III 閉会

<地域福祉推進協議会保健部会員 (名簿順) >

出席者

高野 健人 会長、中村 宏 委員、佐藤 文彦 委員、三羽 敏夫 委員、川又 靖則 委員、橋本 初江 委員、柴藤 徳洋 委員、鳶巣 賢一 委員、青木 秀子 委員、坂庭 富士雄 委員、渡辺 泰男 委員、諸留 和夫 委員、田中 ひとみ 委員、黒住 麻理子 委員、松尾 裕子 委員、山下 美佐子 委員、蒲原 睦 委員、谷川 武 委員、小山 榮 委員、西村 久子 委員、堀江 久美 委員、増山 里枝子 委員

欠席者

金 吉男 委員、川田 智之 委員、神馬 征峰 委員、田中 純一 委員

<事務局>

出席者

石原保健衛生部長、浅川生活衛生課長、境野健康推進課長、渡瀬予防対策課長、内藤保健サービスセンター所長、真下認知症・地域包括ケア担当課長

欠席者

0名

<傍聴者>

4名

I 開会

開会・委員の委嘱、出欠状況・配付資料の確認・会長への進行依頼（議事省略）

II 議題: (1) 保健医療計画の改定について

浅川課長: (1) 保健医療計画の改定について【資料第1号】から【資料第3号】の説明（議事省略）

鳶巣委員: まず、前回の部会で課題となったがんの罹患率についてですが、東京都の地域がん登録は駒込病院が担当しており、担当者から現在のデータについて確認をいたしました。がんの罹患率については、まだ2年分しか計算されていないため、精度が高くないと説明を受けました。よって、現段階でがん対策のデータとして、使うのはまだ早いと考えられます。またがん対策の小項目について、健康的な生活習慣を確立することががんの予防になるので、ここではあえて予防とせず、がん知識の普及啓発を追加しました。また、サバイバーや家族、関係者への支援は必要であることからがん患者及び家族の支援を追加し、既存の小項目を残し、4項目としました。

柴藤委員: 事業番号3-6-3で、「さかり」という言葉以外に適切な言葉はないでしょうか。また「人と動物」という文言を使っていますが、動物という言葉が漠然としている印象を受けます。

諸留委員: HIV・性感染症予防について「区内学校等」とありますが、範囲はどの程度ですか。例えば中学校が入っている場合、成長する速さには個人差がありますので、全員にその教育が必要とは思えないのですが。

渡瀬課長: HIV等については、リクエストを頂いたところに出前講座を行っております。そのため特に公立や私立で区別はしておりません。また、性感染症を含めた感染症という形で行っていますが、微妙な表現が必要な部分もあると思いますので、教育関係の部署と連携しながら進めていきます。

高野会長: 性感染症予防の普及啓発というタイトルなので、文章の書き出しを個別のことから始めるより、広く一般的なことから始めるといいと思います。

増山委員: 生活習慣病の重症化の予防と特定保健指導についての普及啓発を入れたらどうでしょうか。

境野課長: 生活習慣病の予防については、1-1「健康的な生活習慣の確立」に含める表現でよいと考えています。また、特定保健指導は、特定健診を受けられた方でメタボリックシンドロームのおそれのある方を対象に直接電話をしておりませんが、なかなか受けていただけていないというのが現状です。今後も努力するとともにどうすれば受診していただけるのか検討が必要と考えています。

黒住委員: 初孫講座は初孫をお持ちの方だけなのでしょうか。

内藤所長：初孫の方を対象としたものですが、定員に達していない場合はその枠内で、初孫でない方にも対応するものと考えています。

小山委員：近年子どもの虐待について問題になっていますが、親への命の大切さを教育するようなことが必要だと思います。そのような内容を計画に含めたほうがよいと思います。

内藤所長：ネウボラ事業で、妊婦さんと保健師が面接をし、リスクの可能性があるかどうか見ながら対応しています。

坂庭委員：民生児童委員をしていたころの経験から言うと、保健の事業として何か行うよりも、地域の方や学校の先生、保健師、児童相談所等色々含めてチームで対応することが大事であると考えられます。

高野会長：この問題は行政だけでは扱いきれないため、地域全体で取り組む必要があると思います。

谷川委員：睡眠不足というのはここだけの問題ではなく、循環器疾患や糖尿病になりうる様々な疾患と関連があり、厚生労働省から健康づくりのための睡眠指針もでてしているので、体系図に、睡眠を含めるといいと思います。

高野会長：なにか関連する法律があると実施しやすいと思いますが、大事なことではあるので検討いただければと思います。

佐藤委員：進行管理対象事業はどう選定したのですか。

高野会長：全国と数字を比較したりしやすくするためだと思います。

Ⅲ 閉会

浅川課長：以上をもちまして、本日は閉会とさせていただきます。